

2021年1月25日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【化学】特許資産規模ランキング 2020（訂正版）**トップ3は富士フイルム、LG CHEM、住友化学**

【訂正】2021年1月27日：記事中に取り上げた「注目度の高い特許」について、内容を修正しました。修正の詳細は末尾の正誤表をご覧ください。
※本修正で、各企業の特許資産規模の値および順位の変動はございません。

弊社はこのほど、独自に分類した化学業界の企業を対象に、各社が保有する特許資産を質と量の両面から総合評価した「化学業界 特許資産規模ランキング 2020」をまとめました。2019年4月1日から2020年3月末までの1年間に日本特許庁が登録した特許を対象に、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計しました。

その結果、1位 **富士フイルム**、2位 **LG CHEM**、3位 **住友化学**となりました。

【化学業界 特許資産規模ランキング 2020 上位10社】

順位	企業名	特許資産規模	特許件数
1位	富士フイルム	60,665.0	1,188
2位	LG CHEM	25,886.0	658
3位	住友化学	25,202.7	464
4位	積水化学工業	19,694.4	507
5位	花王	18,503.7	588
6位	D I C	17,854.4	325
7位	三菱ケミカル	14,404.1	490
8位	日東電工	13,332.0	359
9位	旭化成	13,129.0	315
10位	日立化成 ※	12,612.4	353

※現：「昭和電工マテリアルズ」

【算出方法について】

特許資産の規模とは、各出願人が保有する特許（特許庁に登録され、失効や権利放棄されていない特許）を「特許資産」としてとらえ、その総合力を判断するための指標です。特許1件ごとに**注目度**に基づくスコアを算出した上で、それに特許失効までの残存期間を掛け合わせ、出願人ごとに合計得点を集計しています。注目度の算出には、特許の出願後の審査プロセスなどを記録化した経過情報などを用いています。

経過情報には、出願人による権利化意欲、特許庁審査官による他社特許拒絶への引用、競合他社による牽制行為などのアクションが記録されており、これらのデータを指数化することで、出願人、審査官、競合他社の3者が、個々の特許にどれくらい注目しているかを客観的に評価することができます。

1位 **富士フイルム**の注目度の高い特許には「静電容量型入力装置の電極保護膜用の組成物、電極保護膜、転写フィルム」や「被写体の所望の箇所に適切に合焦させることができる撮像装置及びフォーカス制御方法」に関する技術が挙げられます。

2位 **LG CHEM**は「合成ゴムの生産工程内の溶媒回収装置」や「二次電池の正極形成用組成物」に関する技術などが、注目度の高い特許として挙げられます。

3位 **住友化学**の注目度の高い特許には「発光強度を維持しつつ、硬化物の耐溶剤性が高いインク組成物」や「溶媒への溶解速度が速い高分子化合物」などに関する技術が挙げられます。

4位 **積水化学工業**は「熱収縮率が改善された長尺のポリ塩化ビニル系耐火材」、5位 **花王**は「電子写真用粉砕トナーの製造方法」などが、それぞれ注目度の高い特許として挙げられます。

* * *

またパテント・リザルト社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【化学業界 特許資産規模ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収録した CD-ROM

- ・化学 特許資産規模ランキング（全期間と2019年度のトップ100）
- ・化学 登録特許件数ランキング（全期間と2019年度のトップ100）
- ・全業種 特許資産規模ランキング（全期間と2019年度のトップ100）
- ・全業種 登録特許件数ランキング（全期間と2019年度のトップ100）

▶価格：50,000円（税抜）

【個別特許の評価データ】

個別特許の評価データを別途ご希望の場合は、お問い合わせください。

件数に応じて右表の単価が適用となります。

	件数	単価（税抜）
	1件～499件	1,000円/件
	500件～999件	600円/件
	1,000件～4,999件	500円/件
	5,000件～9,999件	300円/件
	10,000件～	お問い合わせください

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

Tel : 03-5802-6580

Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL <https://www.patentresult.co.jp/>

【訂正】記載特許名の修正

2021年1月25日発行のプレスリリース内におきまして、「注目度の高い特許」の記載に誤りがございましたので、下記の表の通り訂正させていただきます。

関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました事、深くお詫び申し上げます。

企業名	訂正内容	
富士フイルム	誤	「注射器として密封性と溶出防止性とを同時に確保することができるプレフィルド用のガスケット」や「インプレーンスイッチングモードの液晶表示装置」
	正	「静電容量型入力装置の電極保護膜用の組成物、電極保護膜、転写フィルム」や「被写体の所望の箇所に適切に合焦させることができる撮像装置及びフォーカス制御方法」
LG CHEM	誤	「寿命性能、高温性能など諸特性が向上した非水電解液二次電池」や「多孔性活性層がコーティングされた有機／無機複合分離膜及びこれを備えた電気化学素子」
	正	「合成ゴムの生産工程内の溶媒回収装置」や「二次電池の正極形成用組成物」
住友化学	誤	「負極活物質に炭素材料を用いても、過放電サイクル寿命低下を抑制でき、しかも安価に得ることができる電池」や「パターン形成時の露光マージンが広い感光性樹脂組成物」
	正	「発光強度を維持しつつ、硬化物の耐溶剤性が高いインク組成物」や「溶媒への溶解速度が速い高分子化合物」
積水化学工業	誤	「ヘッドアップディスプレイ等に特に好適に用いられる、遮音性に優れる合わせガラス用中間膜及び合わせガラス」
	正	「熱収縮率が改善された長尺のポリ塩化ビニル系耐火材」
花王	誤	「細胞の変異を簡便かつ低コストに解析する方法」
	正	「電子写真用粉砕トナーの製造方法」